

コメント

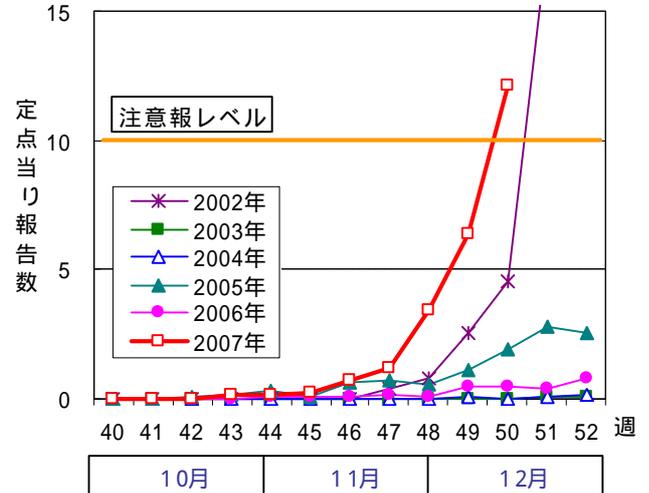
1. インフルエンザ

定点当り12.1人と増加し、**注意報レベル(定点当り10.0人)を超えました**。安芸区37.7人、佐伯区33.3人と警報開始レベル(定点当り30.0人)を超えています。年末にかけてさらに増加すると予想されますので、手洗いとうがいを徹底し、早めに予防接種を受けることをおすすめします。第48週以降の患者の年齢構成比(5歳間隔)の推移をみると、5~9歳は50%前後であり変動していませんが、0~4歳が33% 21% 18%と低下したのに対して、10~14歳は10% 14% 19%と上昇しており、流行が年齢の高い子どもにも広がる傾向がみられます。

2. 感染性胃腸炎

定点当り19.2人とほぼ横ばいとなっています。安芸区43.5人、安佐北区30.3人と特に多く、他の区でもかなり多くなっています。最も多くなる時期を迎えていますので、注意が必要です。

インフルエンザ



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号
インフルエンザ(注2)	448	12.11	1.40	▲	麻疹(注3)	-	-	-	
咽頭結膜熱	21	0.88	0.32	◻	流行性耳下腺炎	2	0.08	1.29	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	1.08	1.67	◻	RSウイルス感染症	16	0.67	1.58	◻
感染性胃腸炎	460	19.17	18.21	▶	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	73	3.04	2.99	◻	流行性角結膜炎	2	0.25	0.98	
手足口病	9	0.38	0.27		細菌性髄膜炎	-	-	0.06	
伝染性紅斑	1	0.04	0.24		無菌性髄膜炎	-	-	0.11	
突発性発しん	18	0.75	0.64		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.54	
百日咳	1	0.04	0.04		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	-	-	0.01		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	0.02						

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	▶	◻	前週と比較しておおむね1.1.5~2の増減
微増減	◻	◻	前週と比較しておおむね1.1.1~1.5の増減
横ばい	◻		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間(RSウイルス感染症は3年間)の同時期平均(定点当り)
 (注2)鳥インフルエンザを除く
 (注3)成人麻疹を除く
 (注4)オウム病を除く

1類 ~ 5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	4	164	女性(30歳代)・1人、男性(60歳代)・2人、男性(70歳代)・1人
4	マラリア	1	2	男性(20歳代)・感染地域:国外
4	レジオネラ症	1	8	男性(60歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	18	男性(20歳代)・無症候

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	定点当り	全国	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
広島市	第46週		26	18	26	228	45	5	-	15	1	-	3	-	2	2	1	7	1	-	3	-	-
	第47週		45	26	26	255	25	4	2	13	2	-	-	-	-	1	-	1	1	-	3	-	-
	第48週		127	29	37	355	64	2	2	12	2	-	-	-	4	9	-	3	-	-	1	-	-
	第49週		236	18	36	453	53	12	1	14	-	-	-	-	1	18	-	4	-	2	3	-	-
	第50週		448	21	26	460	73	9	1	18	1	-	-	-	2	16	-	2	-	-	2	-	-
広島市	第46週		0.70	0.75	1.08	9.50	1.88	0.21	-	0.63	0.04	-	0.13	-	0.08	0.08	0.13	0.88	0.14	-	0.43	-	-
	第47週		1.22	1.08	1.08	10.63	1.04	0.17	0.08	0.54	0.08	-	-	-	-	0.04	-	0.13	0.14	-	0.43	-	-
	第48週		3.43	1.21	1.54	14.79	2.67	0.08	0.08	0.50	0.08	-	-	-	0.17	0.38	-	0.38	-	-	0.14	-	-
	第49週		6.38	0.75	1.50	18.88	2.21	0.50	0.04	0.58	-	-	-	-	0.04	0.75	-	0.50	-	0.29	0.43	-	-
	第50週		12.11	0.88	1.08	19.17	3.04	0.38	0.04	0.75	0.04	-	-	-	0.08	0.67	-	0.25	-	-	0.29	-	-
全国	第48週		2.29	0.26	1.81	13.59	1.66	0.38	0.14	0.61	0.03	-	0.07	0.01	0.29	-	0.02	0.60	0.02	0.01	0.48	0.02	0.01
	第49週		3.98	0.27	1.99	16.88	1.75	0.34	0.16	0.62	0.03	-	0.07	0.01	0.31	-	0.03	0.63	0.02	0.02	0.44	0.01	0.01

(注1)鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

5類感染症報告状況の推移 (STD (性感染症) 基幹定点月単位報告分)

報告数	広島市	10月	STD (性感染症) 定点												基幹定点								
			性器クラミジア感染症			性器ヘルペスウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			薬剤耐性緑膿菌感染症		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
定点当り	広島市	10月	2.33	1.78	0.56	2.00	0.56	1.44	0.78	0.78	0.00	2.89	2.78	0.11	6.00	4.43	1.57	0.57	0.29	0.29	0.29	0.14	0.14
		11月	2.78	2.33	0.44	1.22	0.78	0.44	0.56	0.56	0.00	1.89	1.78	0.11	5.00	3.14	1.86	1.29	1.29	0.00	0.29	0.29	0.00
	全国	11月	2.41	1.04	1.37	0.68	0.25	0.42	0.48	0.26	0.22	0.89	0.70	0.19	4.45	2.85	1.60	0.98	0.60	0.38	0.09	0.06	0.03

定点数 STD定点 9 基幹定点 7

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	1	女	2007/11/06	咽頭拭い液	ライノウイルス
咽頭結膜熱	3	女	2007/10/03	咽頭拭い液	ライノウイルス
咽頭結膜熱	0	男	2007/10/21	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
咽頭結膜熱	4	女	2007/11/07	咽頭拭い液	ライノウイルス
咽頭結膜熱	1	男	2007/11/09	糞便	コクサッキーウイルスB5型
急性上気道炎	0	男	2007/11/06	鼻汁(拭い液)	コクサッキーウイルスB5型
喘息様気管支炎	3	女	2007/10/03	咽頭拭い液	ライノウイルス

【参考】広島市でインフルエンザが注意報レベル以上となった時期について

今シーズンは、第50週に注意報レベルの定点当り10.0人以上となりましたが、1999/00シーズン以降では最も早い時期となっています。

また、1999/00シーズンから2006/07シーズンまでの8シーズンの中で、注意報レベルに達した週からピークとなった週末までの期間は、2週間～5週間で、平均すると3.0週間となっています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2007年第50週 (12月10日～12月16日)